

1・2年生交流会がありました

1・2年生交流会が2月13日(火)に、大学ホールで行われました。この1・2年生交流会は、1・2年生が一堂に会し、これまでに自分が基礎体験活動で学んできたことについて語り合う時間となりました。

本交流会の目的は2つあり、1つ目は今年度の基礎体験活動で取り組んだ活動実績の確認をすると共に、それらの振り返りを通して自己内省を促すことです。もう1つは、他学年の学生との体験活動の情報交換を通して、自分が体験していない活動で得られる学びの共有化をすると共に、今後の体験活動への意欲化を図ることでした。

全体情報交流会では、2名のパネリストと3年生のアドバイザーに壇上にあがってもらい、それぞれが体験した活動に対する思いを語ってもらいました。3名に共通していたのは、自分自身が身に付けたいと考えている教師力を高めるために積極的に体験活動へ取り組んでいるということです。体験活動の大切さについて、自分自身の体験談を踏まえて堂々と語る姿はとても頼もしく感じました。

交流会の全体指導の中で、島根大学教育学部の3つの理念についても再確認しました。「学び続ける教師」「教育実践を省察する教師」「社会における未来を創造する教師」を目指して、今後も「10の教師力」を磨くために、基礎体験活動に主体的に取り組んでくれる姿を期待しています。1・2年生には、この1・2年生交流会で高まったモチベーションや新たな視点を生かして、島根大学が提唱する「10の教師力」を高めていくためにさまざまな体験を積み上げてもらいたいものです。



クリッカーによるアンケート結果

全体情報交流会では、参加学生にクリッカーを使っていくつかの質問をしました。このクリッカーを使うと、リアルタイムでその質問に対する答えの傾向を見ることができます。いくつかの質問項目に対する考察をしてみようと思います。

①「これまでで有意義だったと感じる活動内容は？」という質問は、社会教育施設が全体の約3分の1となる34%を占めました。この結果は、社会教育施設における体験活動数が多いことが関連しているからだと思います。また、専攻別体験が24%ということで、自ら専攻した学科での体験活動が挙げられます。1・2年生は、実習セメスター活動が行われていないこともあり、学校体験の参加が少ないという実態が見受けられました。

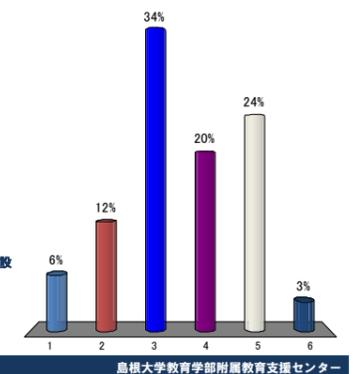
②「これまでの活動を通して身に付いたであろう教師力は？」という質問では、「子ども理解」と「コミュニケーション」が高い割合を示しました。そして、「リーダーシップ・協力」が3番目に高い割合となりました。これは、子どもたちと関わる体験活動に多く参加した結果、身に付いた教師力だと考えます。また、地域、施設の方々と共に活動をすることで、上記3つの教師力は高まっていく実感があると考えました。

③「今後身に付けていきたい教師力は？」という質問では、「教科の基礎知識・技能」「学習支援の指導技術」が高い割合を示しました。また、「学校理解」「リーダーシップ・協力」が続きました。これは、学校現場での基礎体験活動が少なく、学校現場での体験を求めている学生の実態が伺えます。3年生になって、「実習セメスター活動」でこの教師力は身に付けてもらいたいものです。

Q1 これまでで有意義だったと感じる活動内容(1つ)は？

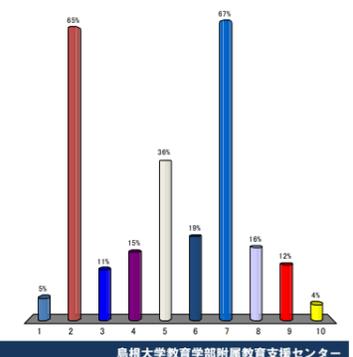
1. 学校体験^{※1}
2. 行政連携事業^{※2}
3. 社会教育施設^{※3}
4. 各種団体
5. 専攻別体験
6. 大学主催プログラム^{※4}

※注
※1: 幼保～高、特支、通級
※2: 各市町村教委主催の放課後、休日の活動
※3: 三瓶、サン・レイク、船上、大山等青少年教育施設
※4: 「専攻別体験」以外の大学主催のプログラム



Q2 これまでの活動を通して身に付いたであろう教師力(3つ以内)は？

1. 学校理解
2. 子ども理解
3. 教科基礎知識・技能
4. 学習支援の指導技術
5. リーダーシップ・協力
6. 社会参加
7. コミュニケーション
8. 探求力
9. 社会の一員としての自覚
10. リテラシー



Q3 今後身に付けていきたい教師力(3つ以内)は？

1. 学校理解
2. 子ども理解
3. 教科基礎知識・技能
4. 学習支援の指導技術
5. リーダーシップ・協力
6. 社会参加
7. コミュニケーション
8. 探求力
9. 社会の一員としての自覚
10. リテラシー

